

平成22年度 豊能町立東能勢小学校 学校評価報告書(No.1)

<p>① 設定目標</p>	<p>ア;【情報を伝える。説明する。】</p> <p>◎教育の方針や活動状況を児童・保護者・地域の人々に適切に伝える。</p> <p>◎学習評価を機会あるごとに見直し、児童の学習意欲・生活意欲の形成を促す。</p>																								
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>○たより・通信(学校、学年、学級、保健、献立、図書館、防犯・防災、等)を発行した。</p> <p>○学校HPに日頃の児童の様子、年間予定、手続き等を掲載した。</p> <p>○学校教育説明会、宿泊行事説明会、入学説明会、等を実施した。</p> <p>○通知表『あゆみ』の項目表記を検討し、改定した。家庭訪問・個人懇談等を併用し伝える。</p>																								
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>この紙面では「説明する、伝える」に関するアンケート項目の集計結果を検討します。(グラフの中にアンケート文がタイトルとして表示してありますが、一行に納めるため簡略にしてあります。)</p> <p>(1-1)についてH19からH22までを児童の回答(「A; と思う」と「B; やや思う」を加えたA+B)で比べると、95%84% 81%86%となります。また、保護者回答は82% 84%92%86%となります。昨年度は児童回答でYes(=A+B)が減り、保護者回答でYesが増えました。本年は元に戻って全体的にはいくらかの上昇傾向のように見えます。そうは言っても六分の一ほどの皆様からはNo(=C+D)との回答でしたから、「努力不足」と受け止めます。</p> <p>また、通知表については次のとおりです。</p> <p>通知表の項目表記を改定しました。それを好意的にとらえて下さったのか、わずかにYesが増えたようです。しかし、自己診断アンケートの集計結果からは「5人に一人が不満」と読めます。家庭訪問や個人懇談・電話連絡なども活用しながら、さらに丁寧な学習・生活状況をお伝えしていきます。</p> <div data-bbox="600 757 1449 1167" data-label="Figure"> <p>(1-1)教育方針や指導の様子を分かりやすく伝える。 ＜児＞学級の目標はわかりやすい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>H21 (%)</th> <th>H22 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児A+B</td> <td>81%</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>保A+B</td> <td>92%</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>教A+B</td> <td>96%</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="600 1279 1449 1688" data-label="Figure"> <p>(2-4)通知表の評価や記録は適切で分かりやすい。 ＜児＞「あゆみ」で自分のがんばりがよくわかる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>H21 (%)</th> <th>H22 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児A+B</td> <td>82%</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>保A+B</td> <td>80%</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>教A+B</td> <td>79%</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	Category	H21 (%)	H22 (%)	児A+B	81%	86%	保A+B	92%	86%	教A+B	96%	92%	Category	H21 (%)	H22 (%)	児A+B	82%	88%	保A+B	80%	81%	教A+B	79%	86%
Category	H21 (%)	H22 (%)																							
児A+B	81%	86%																							
保A+B	92%	86%																							
教A+B	96%	92%																							
Category	H21 (%)	H22 (%)																							
児A+B	82%	88%																							
保A+B	80%	81%																							
教A+B	79%	86%																							
<p>④ 学校関係者評等からの提言</p>	<p>学校に関する様々な情報を分かりやすく、かつ適切に伝達、公開することはとても大切なことです。ホームページの活用や地域広報紙への掲載等、広く校区住民等に学校に関する情報提供をする取り組みの工夫を行うことが大切だと思います。</p>																								

平成22年度 豊能町立東能勢小学校 学校評価報告書(No.2)

<p>① 設定目標</p>	<p>イ;【考えや思いを聞く。気持ちを受け止める】</p> <p>◎児童・保護者・地域の人々の願いや思いを、学校がしっかりと受け止める。</p> <p>◎「いじめ」への対応や困りごと・心配ごとの処理を迅速・的確に行う。</p>																								
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>○家庭訪問、夏季休業中の個人懇談、授業参観・懇談会を実施した。</p> <p>○「生活アンケート」を活用し面談等を実施した。「いじめ」の根絶、集団意識の醸成に努めた。</p> <p>○授業研究会・参観の際に「授業アンケート」を実施し、授業の振り返りに活用した。</p> <p>○校内や小中合同の研修会にて、カウンセリング・マインドの強化に努めた。</p>																								
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>学校が、つまりは教職員が真摯に、児童・保護者・地域の皆様の声を聞こうとしていると感じますか、という質問です。(グラフ内の質問文は No.1 と同様に簡略化しました。以下同様です。)</p> <p>H19 から H22 まで、児童は 90% 近くを推移しています。保護者回答は H19,H20 に 70% 半ばでしたが H21,H22 には 80% 半ばで推移しています。さらにカウンセリング・マインドを鍛えます。</p> <p>次に示すのは、「(3-1) 悩みごと」「(3-2) いじめ」などへの対応に関して尋ねた結果です。</p> <p>「悩みごと」「いじめ」の両グラフが、よく似た形となりました。児童・保護者とも H19 から H22 まで、ほぼ増減なしです。教職員は H19 と H22 が 90% 半ばであり、H20 と H21 が 70% 台です。つまり約 80% です。大まかに言えば、児童・保護者は 3 割が不満を持ち、教員は約 2 割が不安を抱えていることになります。</p> <p>No.1 の「伝える」よりも No.2 の「聞く」が厳しい結果であることを重く受け止めます。</p> <div data-bbox="598 728 1444 1153"> <p>(1-3) 保護者や地域の人たちの願いを受け止めている。 <児>先生は子どもの意見や思いをきちんと聞く。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>H21 (%)</th> <th>H22 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児A+B</td> <td>87%</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>保A+B</td> <td>86%</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>教A+B</td> <td>84%</td> <td>92%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="598 1220 1444 1646"> <p>(3-1) 悩みや心身の健康等を相談しやすい先生がいる。 <児>なやみ・健康の事を相談しやすい先生がいる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>H21 (%)</th> <th>H22 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児A+B</td> <td>74%</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>保A+B</td> <td>69%</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>教A+B</td> <td>71%</td> <td>93%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	対象	H21 (%)	H22 (%)	児A+B	87%	86%	保A+B	86%	84%	教A+B	84%	92%	対象	H21 (%)	H22 (%)	児A+B	74%	74%	保A+B	69%	69%	教A+B	71%	93%
対象	H21 (%)	H22 (%)																							
児A+B	87%	86%																							
保A+B	86%	84%																							
教A+B	84%	92%																							
対象	H21 (%)	H22 (%)																							
児A+B	74%	74%																							
保A+B	69%	69%																							
教A+B	71%	93%																							
<p>④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>子どもの悩みや思いを受け止めるためには、教職員の方々のカウンセリングマインドの向上とともに、中学校のスクールカウンセラーとの連携や、教育相談のシステム化をすることが大切だと思います。</p>																								

平成22年度 豊能町立東能勢小学校 学校評価報告書(No.3)

<p>① 設定目標</p>	<p>ウ;【学習を組織する。学習・生活意欲を育てる。】</p> <p>◎意欲の向上を目指し、学習内容の基礎・基本を定着させる。</p> <p>◎児童の自己評価・授業評価、参観者の授業評価などの研究を進め活用する。</p>																								
<p>② 本年度の取り組み状況</p>	<p>○加配教員を活用したTT・分割授業(習熟度別授業も含む)を行う。</p> <p>○専科教員・中学校教員を活用した授業を実施する。</p> <p>○国・府の学力調査、校内の国・算「学力実態調査、授業アンケート、等を実施・活用する。</p> <p>○『書くこと』をテーマとして授業研究を重ね、児童・教員の自己評価による検証を行う。</p>																								
<p>③ 学校教育自己診断・授業評価等定量的評価及び定性的自己評価内容</p>	<p>本年は学年団で指導する機会を増やしました。加配教員あればこそですが、日頃の授業を含めて、なるべく複数名で対応しました。加配教員や専科教員・嘱託教員などが担当し児童の個別課題に即した指導をめざしました。</p> <p>保護者には「少人数指導」という言葉を使い、児童には「授業がよくわかる」と表現して尋ねました。算数・国語とも約9割のYesをいただきました。</p> <p>教職員の昨年度集計では国語の64%が目立ちました。手さぐり状態の不安が数字の低調に現れました。本年は86%です。自信が少しずつ積み上がった結果と考えます。</p> <p>これで充分とは、とても言えません。さらに『書くこと』を起点として、すべての教科で「深く考える児童」を育てるべく研究を進めます。それを生活意欲の向上に反映させます。</p> <div data-bbox="598 739 1388 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2-1)算数の少人数指導(分割等)は学力に役立つ。 <児>算数の授業は、よく分かる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>87%</td> <td>94%</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>85%</td> <td>91%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="598 1220 1388 1635" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(2-2)国語の少人数指導(分割等)は学力に役立つ。 <児>国語の授業は、よく分かる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>児童</th> <th>保護者</th> <th>教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>88%</td> <td>91%</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>91%</td> <td>91%</td> <td>86%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	学年	児童	保護者	教員	H21	87%	94%	96%	H22	85%	91%	100%	学年	児童	保護者	教員	H21	88%	91%	64%	H22	91%	91%	86%
学年	児童	保護者	教員																						
H21	87%	94%	96%																						
H22	85%	91%	100%																						
学年	児童	保護者	教員																						
H21	88%	91%	64%																						
H22	91%	91%	86%																						
<p>④ 学校関係者評価(学校協議会等からの提言)</p>	<p>○子どもの学習意欲や生活意欲を育てるためには、学校全体として子どもの発達段階や学力、能力に即した適切な指導をもとに、子ども自身のモチベーションをいかに高めるかにかかっています。</p> <p>○補充的に学習、発展的な学習等、子ども一人ひとりに見合った指導が適切に行われることが大切です。</p>																								